



## 6月の園だより

社会福祉法人 あいの里 さやま保育園  
2025年6月1日発行

＊＊保育目標 歓喜 一つよくのびます

- ・自分で考え、工夫し、友だちとも遊びを楽しむ。
- ・小動物や草花を育てる中で、命の大切さを知る。



【法話】 阿弥陀如来さま

気温の差が大きく体調を崩す人が多いようです。間もなく梅雨に入りますが、季節の変わり目、暑さに向かい、熱中症など体調管理に気を付けたいと思います。

保育園のお仏壇には、ご絵像の仏さま、お寺には、お木像の仏さまが、ご安置されています。

私たちがいつも合掌礼拝している仏さまは、阿弥陀如来さまという仏さまです。別のお名前

を「阿弥陀さま」「南無阿弥陀仏」「みほとけさま」「ののさま」ともいいます。仏さまは、さとりを得た人、つまり、すばらしいいのちを持たれた方で、「阿弥陀」とは、光明無量、寿命

無量ということです。阿弥陀如来さまは、いつも、どこでも、どんなときにも、「わたし」と一緒にいてくださいます。阿弥陀如来さまは、そのすばらしいいのちを私たちに働きかけ、まことの道を歩んでもくれよと願い続けてくださっています。阿弥陀如来さまのあたたかく大きな心につつまれて、強く明るく、私の「いのち」を精一杯生かさせていただきましょう。 合掌う。



○食後のことば

どうと 尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます

ごおんほうしゃ 御恩報謝につとめますおかげで、

ごちそうさまでした。

## 今月の行事予定

- 2・16日 礼拝 5日 内科検診 10日 歯科検診  
3日 避難訓練(地震・センター避難・メール訓練)  
発育測定(11日ぞう・きりん/12日うさぎ・りす  
/13日あひる・ひよこ) 19日 トヨタカストライク  
19日 クッキー作り 21日 誕生会  
23日 奉仕作業(保護者会)



育ちあういのち～見方を変えてみたら～

連休明けに植えたぞう組きりん組のプランターの野菜が、日光や雨の自然の恵みと子どもたちの愛情をたっぷりいただいて、元気に育っています。

先日ぞう組きりん組のほし組さんたちが、植え付けの時にみんなで考えた野菜の名前の名札作りをしていました。その時の子ども達からこんなことを教わったと、担任の先生から聞かせていただきました。

子ども達が植えた2粒の枝豆の種のうち、1粒がなかなか芽を出さず、もう無理だろうなあと勝手に思っていました。ところが、今日、枝豆の名前を変えたいと子ども達が言ってきました。実は種まきの際には「つやちゃん(ツヤツヤしてるから)」という名前だったのですが、どんどん伸びる枝豆の芽を見て名前を変えたというのです。ひとつは「(ぐんぐん伸びるから) のびるくん」で、もうひとつは「つちすきくん(土好き)」だというのです。もうビックリ!!

種は芽が出ないので失敗だったのでもなく、土が好きだから土の中に住んでいるんです!子ども達が考えた新たな名前を聞いてハッと驚かされました!!

見方や考え方をちょっと変えるだけで、見えてくる世界が変わることはこのことだと改めて感じました。子どもの見方もそう、周りの大人だって、毎日の生活の中のいろいろなことと重ねることができるなあと、毎日余裕なく過ごしている私にはとても心に刺さりました。焦らず、時には見方を変えてみようと子ども達の姿から気づかされた今日の出来事でした。と、

私たち保育者も、こうやって自分を見つめ、子どもと一緒に育ち合っていくのが、さやま保育園のまことの保育です。